

「NIE を活用してキャリアアップを図る」

～新聞を活用した授業で生徒の自立性・社会性を育む～

新潟市立岡方中学校

1 NIE 実践のねらい

(1) 研究主題設定の理由

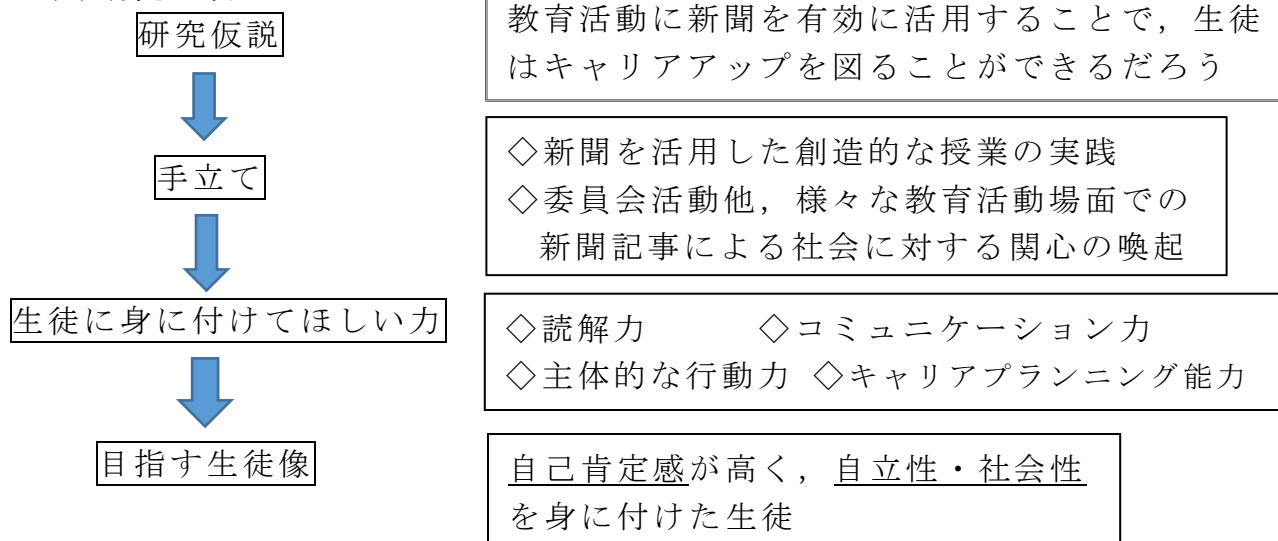
当校の生徒は、明るく素直な生徒が多く、学習をはじめとする諸活動にまじめに取り組む生徒がほとんどである。また、教師の指示や働きかけには素直に応じ、自分の役割や仕事に対して責任をもって果たす生徒が多い。しかし、教師から与えられたことや指示された内容には意欲的には取り組むものの、自分で積極的に考えたり工夫したり、生徒同士が関わり合って主体的に追究したり、創造したりする力に課題が見られた。

特に、学校評価の生徒アンケートにおける調査項目では、新潟市の平均に比べ、『自己肯定感』に関する項目の肯定的評価割合が長年低い傾向にあった。
(右図参照)



これは、小規模校であるがための人間関係の固定化や、狭い世界や社会での学習・生活に起因するものととらえた。そして、生徒の自己肯定感を高めるためには、生徒のキャリア発達を促す新聞活用の実践が有効だと考えた。

(2) 研究の目的



2 本年度実践の概要

(1) 研修の過程

時 期	内 容	OJT (適宜授業実践)
4/ 4(水)	職員研修① (NIE 教育を含めた職員研修の大綱確認)	
5/31(木)	職員研修② (NIE 実践上の課題や問題点, アイデア協議)	
6/25(月)	職員研修③ (「キャリア教育とNIE」講義・グループワーク) ◇指導者: 東新潟中学校校長 津野 庄一郎 様 県 NIE 推進協議会事務局長 土屋 修 様	
10/11(木)	研究発表会公開授業 指導案検討会①	
10/17(水)	研究発表会公開授業 指導案検討会②	
10/24(水)	研究発表会公開授業 指導案検討会③	
11/ 7 (水)	NIE 研究発表会 (国語・社会 公開授業)	
12/21(金)	職員研修④ (NIE 実践のまとめと振り返り)	

(2) 授業 (OJT) での実践内容

【保健体育 (2 年)】 	オリンピック・パラリンピックについて考えよう 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを 2 年後に迎える今、オリンピックのことや国際的なスポーツ大会が果たす役割について、関連の新聞記事をピックアップし、グループの友達に紹介することを通して、スポーツのもつ教育的な意義や価値の理解を深めた。
【理 科 (2 年)】 	科学技術と人間～エネルギーの供給～ 主に経済新聞の中から、エネルギーに関する記事を、生徒自身がピックアップしスクラップ。エネルギーの多様性についての理解を深め、自分たちの生活が、いろいろなエネルギーに支えられていることに気付かせることができた。10 月 30 日 (火) 実施の理科移動教室 (福島県柳津西山地熱発電所見学) への大きな動機づけとなった。
【数 学 (1 年)】 	私たちの生活の中の『数学』について考えよう 直近約 2 カ月分の 5 紙の新聞から、数学で学習している用語が使われていたり、記事の内容の分析に数学的スキルや考えが使われている記事で、自分が関心がある記事をピックアップ。グループで、自分の記事の内容を紹介し、記事を通してみんなに考えてほしいことを提示して、話し合った。

【美術（3年）】 	新聞コラージュ 新聞の写真やイラスト・文字の効果など，新聞のデザインに着目し，視覚的效果を高めるための工夫について考えた。 その手立てとして，グループで協力し合いながら，新聞のデザインを使って，班単位でコラージュの共同制作に取り組んだ。
【英語（1年）】 	身近な人について英語で伝えよう 新潟日報「ふむふむ」の連載記事『お仕事ファイル』を題材に，様々な職種の人的一天を英語で紹介した。新聞からヒントを得たイラストを用いながら，収集した情報をもとに，特に三人称単数現在を用いた表現活用をメインに，働く人のデイリーライフの作成に取り組んだ。
【音楽（1年）】 	様々な音楽文化 新潟日報「佐渡赤玉杉池祭」の新聞記事や地域の「高森いざや神楽」についてのDVDを中心に，全国や地域に伝承されている様々な民謡や芸能についての理解を深め，それらが伝承されてきた背景について考えた。そして，日本の伝統音楽を伝承していく大切さを学んだ。
【道徳（3年）】 	道徳（3年） 死刑制度について多様な考えを扱った新聞記事を活用し，死刑は廃止すべきか，存続させるべきか，について考えた。 新聞記事や班やクラスでの意見交換を通して，死刑制度に対する自分なりの考えをもち，その考えに至った根拠について具体的に発表した。

(3)その他の取組

① 生徒による日常的な NIE 実践活動（通称：『NIE ルーティン』）

取組 A 『この記事にちょっと待った！～みんなの声～』（書く・表現活動）

⇒ 『NIE 掲示板』を利用した意見の投稿（1週間または2週間ターム）

◇NIE 委員会が協議し，その時々の特ピック的な記事を選択する。

◇その記事（またはそのコピー）を切り抜き，『NIE 掲示板』に常設した2枚の模造紙の中央部に貼り出す。（長机の上の各紙新聞には，その記事と関連した部分に付箋を貼って関連記事を強調する。）

◇各記事の掲示は、1週間または2週間の期間（記事の内容によってそのその都度決定）とする。

◇期間内に全校生徒が付箋に自分の意見や考えを記入し、模造紙に貼る。

	期間	掲示の題材記事	投稿内容
①	6/14 ～6/22	新潟県 花角新知事誕生	新しい県知事に何を期待しますか？どんな政治を望みますか？
②	6/27 ～7/13	『ゲーム依存は病気？』 （「週刊学ぼう産経新聞」）	『ゲーム』は世の中（社会）にとって、本当にためになっていると思いますか？その理由は？
③	7/14 ～9/3	西日本豪雨	自然災害に備えて、あなたは日頃からどのようなことに注意し、どのようなことを心がけていますか。
④	9/4 ～10/21	2018 ジャカルタ アジア大会	東京オリンピック・パラリンピックで日本がメダルを量産するための具体的な対策を考えよう！
⑤	10/22 ～12/18	新潟三越閉店	新潟市の経済を活性化・発展させるための具体策を考えよう！
⑥	1/10 ～1/31	新天皇即位 新元号	今年で「平成」は終わり、新元号のもと新たな時代を迎える日本。どんな時代をめざすべきか考えよう！

取組 B 『私の選んだ気になるこの記事！』

⇒朝の新聞読み聞かせ（読む・聞く活動）

◇あらかじめ決められた輪番で割り当てられた生徒が各紙の新聞から、自分が気になる（興味関心がある）最近の記事やコラムを選んで、教室の全校生徒に読んで聞かせる。

◇自分が選んだ記事やコラムは、放送日より前に、あらかじめ放送委員に告知し、また、その記事やコラムを全校生徒分印刷してもらって、朝学活前に学級委員がクラスに配付する。

◇放送時間は、8：20～8：25の5分間とする。

◇配られた記事のプリントは、自分の「NIE ファイル」に毎日綴る。



② 新聞コラムの音読・書写・感想メモ（全校夏休み課題）

◇新潟日報『日報抄』を音読・書写

◇読めない漢字、意味のわからない言葉や表現について、辞書で調べる。

◇メモ欄に記事の内容に対しての感想や自分の意見を書く。

③ 学習図書委員会の活動（平成 29 年度から継続）

私の「イチオシ記事」紹介コーナー	委員が輪番で、自分の興味・関心のある記事を取り上げ、自分の意見や感想を記入する、いわゆる記事を記事にする取組
新聞切り抜き掲示板	委員全員で、トピックス記事を紹介する取組
新聞の仕組み紹介	『新聞のつくり』・『記事のつくり』を解説する掲示板作成
新聞閲覧コーナー	NIE 特設コーナーによる図書館の環境づくり



④ 新聞記事感想文コンクール応募（新潟県 NIE 推進協議会主催）

◇団体賞受賞（77 作品応募／全校 106 名）

◇個人賞（新潟日報社賞）

3 具体的実践例（実践発表会研究授業）

(1)【実践 1 第 2 学年 国語科「身の回りの人物から学ぶ」

①授業のねらい

新聞各紙の「ひと」欄をはじめとした複数の文章を読んで、その内容を比較することを通して、人物を効果的に文章で紹介するために必要なことについて考え、理解することができる。

②授業の実際

学習課題

がんばっている人を、その人を知らない人を含め多くの人に紹介する文章を書くとき、どのような内容を書けばよいだろうか。

< 問題提示 >

サッカー日本代表監督に森保氏が就任したことを、新聞に掲載するのに一番ふさわしい文章はどれか、またなぜそう考えるのか？

<学習活動> 個人思考→グループ協議

A：新潟日報「ひと」 B：Wikipedia からの引用
C：授業者自作 D：産経新聞「きょうの人」
E：森安一 著「プロサッカー監督の仕事」における著書紹介の引用

上記の 5 つの文章を読み比べ、効果的な文章の条件や内容について考える。

（あなたが新聞の編集者になったとしたら、）

- ・新聞に掲載したいと思う文章はどれか？
- ・掲載したい順番を考える（順位付け）
- ・なぜそのように考えたのか？
- ・上位に評価したのはなぜか？ ・下位に評価したのはなぜか？

まとめ

がんばっている人物について、文章で効果的に紹介するためには、「何を成し遂げたか」「なぜやったのか」「どんな風にやったのか」や「その人物の人間性やエピソード」などを入れてその人の実際の言葉を交えて書くのがよい。



③授業協議会

- たくさん文章を読み、読み慣れるという活動を通して、何が、どう書かれているかなどの読み取り力（読解力）が育っている。
- 記事のランキングをつけさせることで、思考の見える化、操作化、集団での検討がしやすかった。
- 「新聞に載せるにはどれがよいか」という提示はアバウト過ぎる。
新聞の何面の扱いなのか、どういう新聞なのかなど、媒体の性格により記事の性格も異なり、何を伝えるかで文の選択も異なる。
- グループの意見交換が、多数決や強い主張の生徒中心だった。新聞記事の内容を参考にして、協議の観点を明確にすべきだった。

(2)【実践 2】 第 3 学年 社会科 「18 歳成人制について考える」

①授業のねらい

「18 歳成人制」について、成人年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられた理由を自分なりに考え、他者と考えを深めることができる。

また、18 歳に向けて自分は大人としてどうあるべきかについて、考えを深めることができる。

②授業の実際

学習課題

成人年齢 18 歳引き下げで、私たちの”何 “がかわるのか？

< 学習活動 > 個人思考→協働学習 (ペア)

新潟日報 2018 年(平成 30 年)7 月 8 日(日曜日) **J** ニュース知っ解く

- ・左面記事：「民法改正 成人年齢 18 歳に」
- ・右面記事：県内中高生「J パル」アンケート

- A. 上記の新聞記事を読み、特に次の 4 つのポイントに絞って、今回の民法改正による。それぞれのプラス面とマイナス面について考える。
(・選挙権 ・契約関係 ・刑事罰 ・飲酒・喫煙・ギャンブル)
- B. A の協議をふまえ、今後の生き方や社会生活を送る上で重要なことについて考える。

まとめ

どんなときも、どんな行動にも“自己責任”が問われる。

③授業協議会

- 生徒が、賛成・反対の根拠を、新聞記事を起点として自分なりの考えを表明できていた。
- 新聞をもとに考える項目が整理されてあって、生徒が自分にとって、身近な問題として考えられる工夫がなされていた。
- 与えられたテーマについて、事前にある程度の期間を与えて、様々な新聞記事で調べる生徒個々の取組があった方がよかった。他のグループの話題も拾うことになり、多くの考えに触れるきっかけになったと思う。
- 新聞の記事の活用には必然性を感じなかった。ポイントを 4 つに絞ったことで、逆に偏った一面的な側面にしか生徒の目がゆき届いていなかったため、課題の追究には至らなかった。



4 成果と課題

NIE 実践研究による 2 年間で、生徒の自己肯定感は大幅にアップし、新潟市の平均同等レベルに達した。

各種学校行事、双方向的な地域貢献活動の取組、縦割り集団を積極的に活用した家庭学習や基礎学力向上への取組、部活動の活性化などを通して、生徒に活躍の場を与え、丁寧に準備して成功体験を積み重ねるといった、全校で地道に継続してきた様々な取組が寄与したのはもちろんのこと、この 2 年間取り組んできた NIE 実践が一定の効果を挙げたと考える。

また、各種生徒アンケート結果から、少しずつではあるが、以前よりも生徒は新聞を親しみやすいものを感じている傾向にあると見て取れる。

一方で、教職員の指導案の事前検討や事後協議が十分にできなかった点や、年間を通して日々の授業での NIE の継続的な実践をすることができなかったことは、大きな反省として挙げられる。

そのため、生徒にとって、世界と自分とを理解し、かかわりを実感・納得する向上的変容のある学び、いわゆる「深い学び」の授業には、まだまだほど遠い現状だと言わざるをえない。

今後は、ただ漠然と茫洋とした形式的な新聞の活用では、生徒に確かな力は身に付かないという認識を常に意識して指導する必要がある。具体的には教師各々が、自身の教科における生徒が学ぶ価値を十分に把握し、自教科の価値観から新聞を十分に観察・吟味した上で、教材化を工夫した授業を実践することが肝要である。

これまでの成果と課題をふまえ、日々の授業においては、新潟市の授業づくりの質的向上と並行して、新聞を活用するための授業づくりについて、教職員の共通理解を図りながら全校的研修実践を継続していきたい。

